

ICT を活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

1 校内研究の取組と成果

本校では、今年度、学校教育目標である「あたたかい心」「ゆたかな知性」「たくましい身体」の育成を踏まえ、自ら考え判断し、主体性をもって行動できる生徒の育成を目指して、「ICT を活用した主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善」をテーマに据え、校内研究に取り組んできました。

2 研究のねらい

本研究では、「個の思考を深める ICT 活用（個別最適な学び）」「対話を活性化する ICT 活用（協働的な学び）」の二つを授業の中に効果的に組み込むことで、生徒が自ら学びを調整し、主体的に課題解決に取り組む姿を目指しました。



講師を招聘して開催した校内研究会の様子▲

3 研究の具体的な取組

授業では、タブレット端末を「文房具としての ICT」として日常的に活用し、次のような学習活動を通して、主体的・対話的で深い学びを授業の中で具体化してきました。

個別最適な学びの場面

- ・ AI ドリルや学習アプリを用いた基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ・ デジタル教科書を活用した情報の取得
- ・ 思考ツール（シンキングツール）を使った考えの整理

協働的な学びの場面

- ・ アンケート機能等による瞬時の共有
- ・ 他者の考えを参照し、自分の考えを修正・深化する活動
- ・ 共同編集機能を活用した意見の練り上げや表現・発信



4 研究を通して見られた成果

研究を通して、生徒が自分の考えをもって学習に取り組み、他者の考えを参照しながら考えを修正しようとする姿が、以前より多く見られるようになりました。また、ICTを「使うこと」そのものではなく、「考えるために使う」「対話につなげるために使う」という位置付けで整理したことで、教員側の ICT 活用に対する意識も徐々に変化してきました。

5 明らかになった課題

調査やアンケートを通して、生徒の ICT に対する意識や学びの捉え方を、客観的に把握・分析する取組が不十分でした。また、各教科の実践事例を幅広く収集・共有する体制が整っておらず、教員個々の工夫を学校全体で共有し、次の実践につなげる仕組みづくりが課題として残りました。

6 今後に向けて

今後は、生徒の声や学びの変容を丁寧に捉えながら、授業改善につなげていくと共に、各教科や様々な活動における ICT 活用の実践事例を整理・共有し、学校全体として教育の質の向上を図っていきたいと考えています。

地域や保護者の皆様と連携しながら、子どもたち一人一人の成長を支える学校づくりを、今後も着実に進めてまいります。引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

